

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年8月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	栃木県	代表者名	福田 富一
担当者部署	産業労働観光部	連絡先電話番号	028-623-3217
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	小堀 弘人
住所	320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森本 登志男
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	直前の依頼かつ限られた時間の中での御講演にもかかわらず、テレワークのメリットやこれまで森本氏が取り組まれた支援などをコンパクトにまとめて御説明いただき、地方におけるテレワークを進める上で大変有意義な内容でした。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年8月20日	14時50分	15時50分		60
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	知事、市長会・町村会長、労働局長等	45人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	地方におけるテレワークの推進について、具体的な展開策が見い出せない状況。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	県内におけるテレワークを推進するため、関係団体で情報共有化を図るとともに、施策等の策定を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	知事、市長会長、町村会長、労働局長、商工団体の長、経済団体の長等を対象に地方におけるテレワーク普及に関するご講演をいただいた。テレワークがもたらすメリットやテレワークの可能性、今までに森本氏が取り組まれた支援等についてわかりやすく御説明いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	漠然とテレワークの推進という目標を掲げていたが、テレワークがもたらす具体的なメリットや、そもそもテレワークが不可能と主張する業種が多い中、どのように進めていけばいいのかと模索していた。テレワークが不可能な業種はない等、テレワークに対して前向きなお話をお聞きでき、今後、関係団体で施策等の策定を検討する上でいいきっかけとなったと感じている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	◎途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	御講演いただいた内容については、今後、関係団体で施策等の策定を検討していく上で参考とさせていただきます。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 時間の都合上アンケート未実施。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	関係団体で施策等を策定し、テレワークの普及・推進を行う。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

